

起工設計図書

施行年月日	令和 年 月 日	工事担当課所名	岡山空港管理事務所 施設課																
工事番号	57- 1- 2	入札条件	前 払 % 部 分 払 回 納期 令和9年3月31日																
委託名	修景管理業務委託																		
路線河川名	岡山空港																		
位置	岡山市北区日応寺																		
施行方法	委託施行 一般競争入札（条件付）																		
委託概要	<table border="0"> <tr> <td>修景管理業務</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>剪定</td> <td>1～2回</td> <td>池底清掃</td> <td>3回</td> </tr> <tr> <td>薬剤防除</td> <td>1～2回</td> <td>雨樋清掃</td> <td>1回</td> </tr> <tr> <td>芝刈・除草</td> <td>1～2回</td> <td>落葉清掃</td> <td>30回</td> </tr> </table>			修景管理業務				剪定	1～2回	池底清掃	3回	薬剤防除	1～2回	雨樋清掃	1回	芝刈・除草	1～2回	落葉清掃	30回
修景管理業務																			
剪定	1～2回	池底清掃	3回																
薬剤防除	1～2回	雨樋清掃	1回																
芝刈・除草	1～2回	落葉清掃	30回																

岡 山 県

位置図



見積参考資料

工事番号	57- 1- 2	工事担当課所名	岡山空港管理事務所 施設課
委託名	修景管理業務委託		
路線河川名	岡山空港		
位置	岡山市北区日応寺		
「見積参考資料」は、入札参加業者の迅速・適正かつ的確な工事費の見積と、積算の技術力向上のための一資料であり、請負契約上の拘束力を生じるものではない。			
単価適用年月日 適用積算基準	令和 8 年 4 月 1 日 令和7年度積算基準	諸経費工種 施工地域区分	空港維持 地方部／影響なし

岡山県

工 事 内 訳 表

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
修景管理業務					
剪定工					
駐車場周辺等					
黒松剪定（大） 標準	1	本			施工 第0 -0001号表
黒松剪定（中） 標準	1	本			施工 第0 -0002号表
黒松剪定（小） 標準	1	本			施工 第0 -0003号表
道路植栽工(植樹管理 せん定) 標準 中木 H=100cm～200cm未満	137	本			施工 第0 -0004号表
道路植栽工(植樹管理 せん定) 標準 中木 H=200cm以上	160	本			施工 第0 -0005号表
道路植栽工(植樹管理 せん定) 標準 寄植 H=100cm未満	4,177	m2			施工 第0 -0006号表

工 事 内 訳 表

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
道路植栽工(植樹管理 せん定) 環境緑地帯 寄植 H=100cm未満	744	m2			施工 第0 -0007号表
薬剤防除工					
駐車場周辺等					
道路植栽工(植樹管理 防除) 標準 高木 幹周60cm未満	298	本			施工 第0 -0008号表
道路植栽工(植樹管理 防除) 環境緑地帯 高木 幹周60cm未満	110	本			施工 第0 -0009号表
道路植栽工(植樹管理 防除) 標準 高木 幹周60cm～120cm未満	120	本			施工 第0 -0010号表
道路植栽工(植樹管理 防除) 環境緑地帯 高木 幹周60cm～120cm未満	94	本			施工 第0 -0011号表
道路植栽工(植樹管理 防除) 標準 中木 H=100cm～200cm未満	314	本			施工 第0 -0012号表
道路植栽工(植樹管理 防除) 環境緑地帯 中木 H=100cm～200cm未満	58	本			施工 第0 -0013号表

工 事 内 訳 表

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
道路植栽工(植樹管理 防除) 標準 中木 H=200cm以上	352	本			施工 第0 -0014号表
道路植栽工(植樹管理 防除) 環境緑地帯 中木 H=200cm以上	62	本			施工 第0 -0015号表
道路植栽工(植樹管理 防除) 標準 寄植	4,998	m2			施工 第0 -0016号表
道路植栽工(植樹管理 防除) 環境緑地帯 寄植	1,488	m2			施工 第0 -0017号表
道路植栽工(植樹管理 防除) 標準 歩道	595	m2			施工 第0 -0018号表
道路植栽工(植樹管理 防除) 標準 除草剤散布	140	m2			施工 第0 -0019号表
道路植栽工(植樹管理 防除) 環境緑地帯 除草剤散布	5,772	m2			施工 第0 -0020号表
殺虫剤 スミチオン500ml同等品	24	本			
展着剤 スプレイザー500ml同等品	3	本			

工 事 内 訳 表

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
除草剤 ラウンドアップマックスロード500ml同等品	2	本			
芝用除草剤 M C P P 500ml同等品	6	本			
芝刈工					
駐車場周辺等					
道路植栽工(植樹管理 芝刈) 標準 機械刈り	140	m2			施工 第0 -0021号表
道路植栽工(植樹管理 芝刈) 環境緑地帯 機械刈り	5,772	m2			施工 第0 -0022号表
除草, 集草(人力), 梱包, 積込・荷卸(総合)	1,911	m2			施工 第0 -0023号表
運搬(堤防除草)	1.911	1000m2			施工 第0 -0024号表
除草工					

工 事 内 訳 表

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
駐車場周辺等					
道路植栽工(植樹管理 抜根除草) 標準 芝無し	7,958	m2			施工 第0-0025号表
道路植栽工(植樹管理 抜根除草) 環境緑地帯 芝無し	852	m2			施工 第0-0026号表
除草,集草(人力),梱包,積込・荷卸(総合)	7,732	m2			施工 第0-0023号表
運搬(堤防除草)	7.732	1000m2			施工 第0-0024号表
道路植栽工(植樹管理 抜根除草) 標準 芝有り	42	m2			施工 第0-0027号表
道路植栽工(植樹管理 抜根除草) 環境緑地帯 芝有り	1,732	m2			施工 第0-0028号表
刈草処分					
*直接工事費における処分費					

工 事 内 訳 表

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
草処分費					
	7.84	t			施工 第0 -0029号表
清掃工					
駐車場周辺等					
池底清掃 シンボルゾーン					
	3	回			施工 第0 -0030号表
雨樋清掃					
	1	回			施工 第0 -0031号表
落葉清掃					
	30	回			施工 第0 -0032号表
直接工事費					
共通仮設費率分					
共通仮設費計					

工 事 内 訳 表

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
純工事費					
現場管理費					
工事原価					
一般管理費等					契約保証に係る補正あり
工事価格計					
消費税等相当額計					10%
工事費計					

数量総括表(駐車場周辺、シンボルゾーン、法面緑化、第2駐車場、芝と黒松)

工種	名称	仕様	単位	標準												小計	環境緑地帯			小計	計	備考
				駐車場周辺			シンボルゾーン			法面緑化			第2駐車場				芝と黒松					
				数量	回数	合計	数量	回数	合計	数量	回数	合計	数量	回数	合計		数量	回数	合計			
剪定工	黒松剪定	黒松(大)				1	1	1							1				1	1回/年		
		黒松(中)				1	1	1							1				1	1回/年		
		黒松(小)				1	1	1							1				1	1回/年		
	中木剪定(生垣)	樹高100cm~200cm未満 円筒形	本				1	1	1				136	1	136	137				137	1回/年	
	中木剪定(生垣)	樹高200cm以上 円筒形	本				11	1	11				149	1	149	160				160	1回/年	
	寄植剪定刈込	樹高100cm未満	m ²	1,132	2	2,264	200	2	400	1,231	1	1,231	141	2	282	4,177	744	1	744	744	4,921	1~2回/年
薬剤防除工	高木防除	幹周60cm未満	本				129	2	258				20	2	40	298	55	2	110	110	408	2回/年
	高木防除	幹周60cm~120cm未満	本				39	2	78				21	2	42	120	44	2	88	88	208	2回/年
	中木防除	樹高100cm~200cm未満	本				21	2	42				136	2	272	314	29	2	58	58	372	2回/年
	中木防除	樹高200cm以上	本				24	2	48				152	2	304	352	31	2	62	62	414	2回/年
	寄植防除		m ²	1,021	2	2,042	172	2	344	1,165	2	2,330	141	2	282	4,998	744	2	1,488	1,488	6,486	2回/年
	除草剤散布	歩道(インターロッキング)除草	m ²	557	1	557				38	1	38				595					595	1回/年
	除草剤散布	芝有り	m ²	70	2	140										140	2,886	2	5,772	5,772	5,912	2回/年
芝刈工	芝刈	機械刈り	m ²	70	2	140										140	2,886	2	5,772	5,772	5,912	2回/年
	円弧芝刈	肩掛け	m ²	643	2	1,286							103	3	309	1,595	158	2	316	316	1,911	2回/年
除草工	芝無し	裸地含む	m ²	1,495	2	2,990	450	2	900	1,386	2	2,772	648	2	1,296	7,958	852	1	852	852	8,810	1~2回/年
	法面除草	肩掛け	m ²							3,866	2	7,732				7,732					7,732	2回/年
	芝有り	抜根除草	m ²	21	2	42										42	866	2	1,732	1,732	1,774	2回/年
清掃工	池底清掃		回				1	3	3						3						3	3回/年
	雨樋清掃		回																		1	1回/年
	落葉清掃		回																		30	30回/年

■・・・工事内訳表の計上数量

樹木管理本数・面積数量表

高木

名称	単位	シンボルゾーン			芝と黒松			第2駐車場			備考
		120cm以上	60cm~120cm未満	60cm未満	120cm以上	60cm~120cm未満	60cm未満	120cm以上	60cm~120cm未満	60cm未満	
常緑樹											
アカマツ	本		14	8							
アラカシ	本		2	5							
ウバメガシ	本			2							
カイズカイブキ	本										
キンモクセイ	本					3	6				
クスノキ	本		3	3		3			13		
グリーンコーン	本										
クロガネモチ	本			3			1				
クロマツ	本			3		17	2				
ゴールドクレスト	本										
サザンカ	本						17				
サンゴジュ	本									8	
シラカシ	本									5	
スギ	本		10								
スダジイ	本								3		
ソヨゴ	本			3			9				
タラヨウ	本		1	2							
ヒイラギモクセイ	本										
ヒノキ	本			4							
ヒメユズリハ	本			2							
ヤブツバキ	本			5			9			6	
ヤマモモ	本		6								
小計	本		36	40		23	44		16	19	
名称	単位	シンボルゾーン			芝と黒松			第2駐車場			備考
		120cm以上	60cm~120cm未満	60cm未満	120cm以上	60cm~120cm未満	60cm未満	120cm以上	60cm~120cm未満	60cm未満	
落葉樹											
アメリカフウ	本					7					
イチョウ	本			1							
イロハモミジ	本			78			5				
ウメ	本			3							
カインキ	本						4				
カゴノキ	本			2							
クヌギ・コナラ	本										
ケヤキ	本		2			14	1				
タイワンフウ	本							5		1	
チシャノキ	本		1								
ナンキンハゼ	本										
ノムラモミジ	本						1				
ハコネウツギ	本			2							
ハナミズキ	本										
モモ	本										
ヤマザクラ	本			3							
ヤマボウシ	本										
小計	本		3	89		21	11		5	1	
計	本		39	129		44	55		21	20	
内環境緑地帯	本		0	0		44	55		0	0	
内-標準	本		39	129					21	20	

樹木管理本数・面積数量表

中木

名 称	単 位	シンボルゾーン		芝と黒松		第2駐車場		備 考
		H=200cm以上	H=100cm~200cm未満	H=200cm以上	H=100cm~200cm未満	H=200cm以上	H=100cm~200cm未満	
常緑樹								
カイズカイブキ	本	11						
キンモクセイ	本			4				
クスノキ	本							
グリーンコーン	本							
クロガネモチ	本							
サカキ	本	1	10					
サザンカ	本			7	5		136	
サンゴジュ	本					47		
シラカシ	本							
ソヨゴ	本	1	1	1				
ネズミモチ	本							
ハクサンボク	本	3	4					
ヒイラギモクセイ	本			5	3	102		
モッコク	本							
ヤブツバキ	本	3		6	9			
小計	本	19	15	23	17	149	136	
名 称	単 位	シンボルゾーン		芝と黒松		第2駐車場		備 考
		H=200cm以上	H=100cm~200cm未満	H=200cm以上	H=100cm~200cm未満	H=200cm以上	H=100cm~200cm未満	
落葉樹								
アジサイ	本		1					
イロハモミジ	本	4						
シダレモモ	本							
シデコブシ	本							
ネジキ	本			5	11			
ノムラモミジ	本			3		1		
ハコネウツギ	本	1	4					
ハナミズキ	本				1			
ハナモモ	本		1					
ムクゲ	本					2		
モモ	本							
リョウブ	本							
小計	本	5	6	8	12	3		
計	本	24	21	31	29	152	136	
生垣剪定数量	本	11	1			149	136	

樹木管理本数・面積数量表

低木・地被類

名 称	単位	駐車場周辺	シンボルゾーン	法面緑化	芝と黒松	第2駐車場	備考
低木							
アジサイ	m ²						
アセビ	m ²	2	3	4	21		
アベリア	m ²	81	10	175	172		
アベリアエドワードジョーチャ	m ²		16				
オオムラサキツツジ	m ²	89	11	61	129		
カラタチ	m ²		2				
カンツバキ	m ²	58	6	24	12		
キリジマツツジ	m ²	78		36	50		
クチナシ	m ²			41	21		
コクチナシ・ヒメクチナシ	m ²	4	1	4	5		
コデマリ	m ²	4			7		
コトネアスター	m ²	1	16	71			
サカキ	m ²				2		
サツキツツジ	m ²	172	9	159	141		
シモツケ	m ²				4		
シャリンバイ	m ²	81	2	35	33	26	
ジンチョウゲ	m ²		2				
セイヨウイワナンテン	m ²	51		2			
ドウダンツツジ	m ²	30					
ナワシログミ	m ²			12			
ハイビヤクシン	m ²			128			
ハギ	m ²						
ハクチョウゲ	m ²						
ハコネウツギ	m ²						
ハマヒサカキ	m ²	11	6	20			
ヒイラギナンテン	m ²	32	4		18		
ヒサカキ	m ²						
ヒペリカムカリシナム	m ²	156	71			115	
ビョウヤナギ	m ²		2				
ヒラドツツジ	m ²	13	11	212	129		
ベニカナモチ	m ²	9					
マメツゲ・タマツゲ	m ²	80		176			
レンギョウ	m ²			5			
ガザニア	m ²	69					
① 低木小計	m ²	1,021	172	1,165	744	141	

名 称	単位	駐車場周辺	シンボルゾーン	法面緑化	芝と黒松	第2駐車場	備考
地被							
キズタ	m ²		7				
コグマザサ	m ²	21					剪定
シバザクラ	m ²			25			
ツルマサキ	m ²		2	5			剪定
ツワブキ	m ²		6				
ピンカミノール	m ²	2	10				剪定
フッキソウ	m ²		1				
ヘデラヘリックス	m ²	88	16	61			剪定
マツバギク	m ²	70					
リュウノヒゲ	m ²	48	205			182	
② 地被小計	m ²	229	247	91		182	
③ 地被剪定小計	m ²	111	28	66			
芝							
張芝 平面	m ²	70		310	2,886		
張芝 法面	m ²	643		3,556	158	103	
④ 芝小計	m ²	713		3,866	3,044	103	
裸地等							
裸地	m ²	245	31	130	108	325	
⑤ 裸地等小計	m ²	245	31	130	108	325	
その他							
歩道(インターロッキング)	m ²	557		38			除草剤

駐車場周辺【低木】

樹木名	形状寸法	数量	単位	番	号
アセビ	樹高100cm未満	2	m ²		
アベリア	樹高100cm未満	81	m ²		
オオムラサキツツジ	樹高100cm未満	89	m ²		
カンツバキ	樹高100cm未満	58	m ²		
クリシマツツジ	樹高100cm未満	78	m ²		
コクチナシ	樹高100cm未満	4	m ²		
コグマザサ	地被類	21	m ²		
コデマリ	樹高100cm未満	4	m ²		
コトネアネスター	樹高100cm未満	1	m ²		
サツキツツジ	樹高100cm未満	172	m ²		
シャリンバイ	樹高100cm未満	81	m ²		
セイヨウイワナンテン	樹高100cm未満	51	m ²		
ベニカナモチ	樹高100cm未満	9	m ²		
ドウダンツツジ	樹高100cm未満	30	m ²		
ハマヒサカキ	樹高100cm未満	11	m ²		
ヒイラギナンテン	樹高100cm未満	32	m ²		

駐車場周辺【低木】

樹木名	形状寸法	数量	単位	番	号
ヒペリカムカリシナム	樹高100cm未満	156	m ²		
ヒラドツツジ	樹高100cm未満	13	m ²		
ピンカミノール	地被類	2	m ²		
ヘデラヘリックス	地被類	88	m ²		
マツバギク	地被類	70	m ²		
ツゲ(マメツゲ・タマツゲ)	樹高100cm未満	50	m ²		
リュウノヒゲ	地被類	48	m ²		
張芝 平面		70	m ²		
張芝 法面		643	m ²		
裸地		245	m ²		
タマツゲ	樹高100cm未満	30	本 (m)	…計 80m	
歩道除草		557	m ²		
ガザニア	樹高100cm未満	69	m ²		

シンボルゾーン【高中木】

樹木名	形状寸法	数量	単位	番号																	
カイズカイブキ	樹高 200cm以上	11	本	170 (11)																	
カゴノキ	幹周 60cm未満	2	本	202	203																
クスノキ	幹周 60cm以上120cm未満	3	本	158	161	169															
	幹周 60cm未満	3	本	95	99	105															
クロガネモチ	幹周 60cm未満	3	本	156	171	178															
クロマツ	大	1	本	82																	
	中	1	本	81																	
	小	1	本	80																	
ケヤキ	幹周 60cm以上120cm未満	2	本	86	90																
サカキ	樹高 200cm以上	1	本	T7																	
	樹高 100cm以上200cm未満	10	本	T1	T2	T3	T4	T5	T6	T8	T9	T10	T11								
スギ	幹周 60cm以上120cm未満	10	本	117	119	120	121	128	129	130	131	133	134								

シンボルゾーン【低木】

樹木名	形状寸法	数量	単位	番	号
アセビ	樹高100cm未満	3	m ²		
アベリア	樹高100cm未満	10	m ²		
アベリアエドワードゴーチヤー	樹高100cm未満	16	m ²		
オオムラサキツツジ	樹高100cm未満	11	m ²		
カラタチ	樹高100cm未満	2	m ²		
カンツバキ	樹高100cm未満	6	m ²		
キズタ	地被類	7	m ²		
コクチナシ	樹高100cm未満	1	m ²		
コトネアネスター	樹高100cm未満	16	m ²		
サツキツツジ	樹高100cm未満	9	m ²		
シャリンバイ	樹高100cm未満	2	m ²		
ジンチョウゲ	樹高100cm未満	2	m ²		
ツルマサキ	地被類	2	m ²		
ハマヒサカキ	樹高100cm未満	6	m ²		
ヒイラギナンテン	樹高100cm未満	4	m ²		
ヒペリカムカリシナム	樹高100cm未満	71	m ²		
ヒラドツツジ	樹高100cm未満	11	m ²		

法面緑化【低木】

樹木名	形状寸法	数量	単位	番	号
アセビ	樹高100cm未満	4	m ²		
アベリア	樹高100cm未満	175	m ²		
オオムラサキツツジ	樹高100cm未満	61	m ²		
カンツバキ	樹高100cm未満	24	m ²		
クリシマツツジ	樹高100cm未満	36	m ²		
クちなし	樹高100cm未満	41	m ²		
コトネアネスター	樹高100cm未満	71	m ²		
サツキツツジ	樹高100cm未満	159	m ²		
シバザクラ	地被類	25	m ²		
シャリンバイ	樹高100cm未満	35	m ²		
セイヨウイワナンテン	樹高100cm未満	2	m ²		
ツルマサキ	地被類	5	m ²		
ナワシログミ	樹高100cm未満	12	m ²		
ハイバクシン	樹高100cm未満	128	m ²		
ヒメクちなし	樹高100cm未満	4	m ²		
ヒラドツツジ	樹高100cm未満	212	m ²		

樹木名	形状寸法	数量	単位	番	号
アセビ	樹高100cm未満	21	m ²		
アベリア	樹高100cm未満	172	m ²		
オオムラサキツツジ	樹高100cm未満	129	m ²		
カンツバキ	樹高100cm未満	12	m ²		
キリシマツツジ	樹高100cm未満	50	m ²		
クチナシ	樹高100cm未満	21	m ²		
コクチナシ	樹高100cm未満	5	m ²		
コデマリ	樹高100cm未満	7	m ²		
サカキ	樹高100cm未満	2	m ²		
サツキツツジ	樹高100cm未満	141	m ²		
シモツケ	樹高100cm未満	4	m ²		
シャリンバイ	樹高100cm未満	33	m ²		
ヒイラギナンテン	樹高100cm未満	18	m ²		
ヒラドツツジ	樹高100cm未満	129	m ²		
張芝 平面		2,886	m ²		
張芝 法面		158	m ²		
裸地		108	m ²		

【駐車場周辺、シンボルゾーン、法面緑化、第2駐車場、芝と黒松】薬剤及び草処分量 数量表

工種	名称	規格等	単位	数量	備考
薬剤防除工					
	殺虫剤	500ml	本	24	スミチオン同等品
	展着剤	500ml	本	3	スプレイザー同等品
	除草剤	500ml	本	2	ラウンドアップマックスロード同等品
	芝用除草剤	500ml	本	6	MCP P同等品
草等処分					
	刈草等処分費		t	7.84	芝刈面積と除草面積の合計面積に対し、1,000m2 当たり0.3tを見込む

【駐車場周辺、シンボルゾーン、法面緑化、第2駐車場、芝と黒松】 殺虫剤・展着剤数量

殺虫剤（スミチオン（500ml/本））

散布場所	本・m2当たり 散布量 (ml/本・ml/m2)	散布対象 本数・面積 (本・m2)	薬剤使用量 (ml)	設計数量 (本)	備考
高木（幹周60cm未満）	4.0	408.0	1,632.0	24	
高木（幹周60cm～ 120cm未満）	10.0	208.0	2,080.0		
中木（H=2m以下）	1.5	372.0	558.0		
中木（H=2m～3m）	2.0	414.0	828.0		
低木	1.0	6,486.0	6,486.0		

※本・m2当たり散布量については、岡山空港修景管理マニュアルのとおり。

※設計数量については、薬剤使用量から1本当たり数量で割り戻しで算出された本数（少数第1位切上げ）を計上

展着剤（スプレイザー／500ml/本）

散布場所	m2当たり散布量 (ml/m2)	散布対象面積 (m2)	殺虫剤使用量 (本)	設計数量 (本)	備考
			24	3	

※殺虫剤（スミチオン）へ添加するものとし、使用量は殺虫剤の1/10とする。また、設計数量（本数）が整数に満たない場合は、整数値に切り上げる。

【駐車場周辺、シンボルゾーン、法面緑化、第2駐車場、芝と黒松】 除草剤数量

除草剤

薬品名	m2当たり散布量 (ml/m2)	散布対象面積	薬剤使用量	設計数量	備考
		(m2)	(ml)	(本)	
ラウンドアップマックスロード (500ml)	1.00	595.0	595.0	2	

※薬剤使用量について、10a当たり使用量が200～2,000mlであり適用雑草等により使用量が異なるため、本業務では前年度実績に基づき「1,000ml/10a (1.0ml/m2)」とする。

芝用除草剤

薬品名	m2当たり散布量 (ml/m2)	散布対象面積	薬剤使用量	設計数量	備考
		(m2)	(ml)	(本)	
MCP P (500ml)	0.50	5,912.0	2,956.0	6	

※薬剤使用量について、10a当たり使用量が500～1,000mlであり散布時期により使用量が異なるため、本業務では前年度実績に基づき「500ml/10a (0.50ml/m2)」とする。

岡山空港修景管理マニュアル

平成26年2月19日改正

1. 管理実施方法及び留意点

- ① 各工区、各工種ごとに2箇所以上撮影すること。(ただし、1枚で全景が撮影できる箇所についてはその限りではない)
- ② 提出写真は、Lサイズ縁なしとし、A4工事用アルバムとする。デジカメの場合は、Lサイズ相当の大きさにA4用紙にプリントアウトすること。
- ③ 薬剤等の材料搬入または使用後の空袋について、監督員に工事打合簿を以て確認立会を事前に要請すること。
- ④ 全ての作業において『施工前』、『施工中』、『施工後』の写真撮影すること。
- ⑤ 設計図書内容の作業実施日が全て把握できるように書類と写真を整理すること。また、追加作業が発生した場合においても同様の対応を図ること。
- ⑥ 設計図書の内容の他に景観維持の観点から作業が必要と思われる箇所について、事前に必要理由・実施効果・作業額・作業日数・平面図・対象箇所の写真等の内容を工事打合簿(協議)を以て説明し、後日提示される工事打合簿(指示)を受理してから作業を実施すること。
作業を先行実施し、監督員に事後報告した場合で、説明論拠が不明確なときは変更対象に値しない案件と判断されるので、建設的で合理的に提案されるよう留意されたい。
- ⑦ 作業時には必ずヘルメットを着用すること。また、高所作業時には落下・転落事故等が発生しないよう、落下防止対策には細心の注意を払うこと。

2. 管理作業標準

- ① 剪定工
 - (1) ナンキンハゼ：自然樹形とし、強剪定はしない。
 - (2) 生垣：原則、天端を刈揃えない。(第2駐車場を除く)
 - (3) 寄植：現況の形で仕上げ、深刈込みをしない。

- ② 薬剤散布工 高中低木・・・接触性の殺虫剤を使用し、次回は薬効の切れる前に連続して散布する。

【単位：リットル】

名 称	高 木			中 木		低木
	60未満	60～120未満	120以上	H2m以下	H2～3m	(㎡当り)
スミチオン乳剤	0.004	0.01	0.015	0.0015	0.002	0.001
	本 当 り			本 当 り		㎡当り

※作業時期については監督員と協議する。

※薬剤については状況により判断する。

- ③ 芝刈工 (1) 刈りむら、石跳ね等がないよう十分に注意を払うこと。
 (2) 法面での作業にあたっては、転落・転倒防止に留意し、上下作業を行わないこと。
- ④ 除草工 (1) 芝有・芝無：抜根除草を原則とし、根元から丁寧に抜き取る。
 (2) 草 刈：作業時期は監督員との協議で決定する。
 (3) 除草作業は他の工区とできるだけ実施時期を合わせること。
 (4) 管理作業地清掃：除草作業の際、周辺の空缶やゴミ等を拾うこと。
- ⑤ 清掃工 池庭清掃：循環ポンプを指導させる前に運転事前点検と、ポンプ内のエア抜きを行うこと。
- ⑥ その他 (1) 車道での作業は、諸車両の通行に支障を来さないように作業車両の駐車位置を考慮すること。(カーブ前後での停車については、特に留意すること)
 (2) 脚立使用においては、転落、転倒のないように足場を固定すること。
 (3) 枝打ち及び伐採した木や枝が空港利用者の車両等へ当たることのないよう事前に周辺状況を把握し、現場に合った対策を講じつつ作業実施すること。

特記仕様書

- 1 本業務の施行にあたっては、「岡山県土木工事共通仕様書」（岡山県）、「岡山空港修景管理仕様書」、「岡山空港修景管理マニュアル」によるほか、「空港土木工事共通仕様書」（国土交通省航空局）に基づき実施しなければならない。なお、記載事項が重複する場合は国土交通省の仕様書を優先すること。
共通仕様書等に対する特記及び追加仕様事項は、下記のとおりとする。
- 2 薬剤散布については、「岡山空港修景管理マニュアル」によること。
薬剤は1000倍液を使用すること。
薬剤について、殺虫剤はスミチオン、展着剤はスプレイザー、歩道部除草剤はラウンドアップ、芝用除草剤はMCP Pの使用を想定しており、実施にあたり同等品以上のもので監督員の承認を受けること。
- 3 施肥については、計上していないが状況により変更するものとする。
詳細は監督員と協議をすること。
- 4 本業務委託は、樹木を順調に生育させるために実施するものであり、管理項目以外に必要な事項があれば監督員と協議をすること。
- 5 空港利用者（運転者、歩行者等）の安全対策には万全を期すこと。
- 6 剪定枝等の処理場所については、監督員の指示を仰ぐこと。処理方法についてリサイクル等、焼却以外の方法があれば監督員と協議をすること。
- 7 各工種が完了したら、その都度工種完成調書（完成写真、施工内訳、現場写真帳等）を作成し、監督員に提出すること。
- 8 具体的な施工方法、時期、量、材料等については、受託後に協議を行った後に、現場作業に着手すること。
なお、変更や新たな作業（追加）が生じた場合は、着手前に監督員と協議を行い、実施の有無や方法を決定させること。
- 9 毎月月初めに、実施工程表（岡山県土木工事共通仕様書 別冊様式 実施工程表）を作成し、監督員に提出すること。

- 1 0 当初発注図面と数量が一部、一致しない箇所があるが、数量表の方を正とする。委託諸数量の異同については、工事打合簿（岡山県土木工事共通仕様書 別冊様式 工事打合簿）により監督員と協議を行い決定すること。
- 1 1 剪定、芝刈り、除草について
各回共、作業終了後には、速やかに監督員に連絡することとし、現場写真、完成写真および展開図等を作成の上、別紙（検査・段階確認書）を監督員に提出し、作業終了の確認を得ること。
刈り残しなどある場合には、再度作業を指示する。
なお、確認時の写真は工区毎に撮影し、監督員へ提出すること。
歩道部除草剤は、ラウンドアップの使用を想定している。芝生用除草剤は、M C P Pの使用を想定している。実施にあたっては、同等品以上を使用するものとし、事前に材料及び使用量については、監督員と協議し、承認を受けること。
- 1 2 雨樋清掃については、第1駐車場の歩行者用の庇についての清掃であり、屋根及び樋に詰まった泥、落ち葉等の清掃を行うこと。なお、歩行者及び第1駐車場の駐車車両に泥、落ち葉等ゴミがかからないよう十分留意の上、作業を行うこと。
- 1 3 落ち葉清掃については、空港内の道路（ターミナル前、第1駐車場周辺）、第1駐車場内及びターミナル前の歩道について落ち葉の清掃作業を行うこと。
- 1 4 作業回数については、各工区ごとに別紙のとおり回数としているが、景観維持の観点から作業回数を増やす必要が生じたときには速やかに監督員へ工事打合簿を提出し、必要性の有無の確認協議を行うこと。
- 1 5 本委託で発生する刈草処分については、芝刈面積と除草面積の合計面積の1,000m²当たり0.3tの処分量を見込み、運搬先は岡山市南区当新田にある当新田環境センターへ搬入することを見込んでいる。（運搬距離19.2km）
上記施設で積算しているが、受注者が積算及び搬入する処理施設を指定するものではない。なお、受注者の提示する施設（法令等に基づいた正規な場所であること）と異なる場合においても設計変更の対象としない。ただし、現場条件や数量の変更等、請負者の責によらない事項についてはこの限りではない。

岡山空港修景管理仕様書

I：植込地管理

1. 植木手入れ

(1) 剪定の種類

- ① 基本剪定は、樹形の骨格作りを目的とするもので、主として冬期剪定に適用し、樹種の特性に依り最も適正な剪定方法により行う。
- ② 軽剪定は樹冠の整正、込みすぎによる枯損枝の発生防止などを目的とするもので、主として夏期剪定に適用し、切り詰め、枝抜き等を行う。

(2) 主として剪定すべき枝

- ① 枯枝
- ② 生長の止まった弱小の枝（弱小枝）
- ③ 著しく病虫害に侵されている枝（病虫害枝）
- ④ 通風、採光、架線、人車の通行等の障害となる枝（障害枝）
- ⑤ 折損により危険をきたす恐れのある枝（危険枝）
- ⑥ 樹冠、樹形、生育上不必要な枝（冗枝、ヤゴ、胴ブキ、徒長枝、カラミ枝、フトコロ枝、立枝等）

(3) 剪定の方法

①一般事項

- ・不定芽の発生原因となる「ぶつ切り」などは原則として行わない。
- ・下枝の枯死を防止するよう原則として上方を強く、下方は弱く剪定する。
- ・太枝の剪定は、切断箇所の表皮が剥がれないよう、切断予定箇所の数を 10cm 上より予め切断し、枝先の重量を軽くしたうえで切り返しを行い切除する。また、太枝の切断面には必要に応じて監督員の指示により防腐処理を施す。

②切詰剪定

主として新生枝を樹冠の大きさが整う長さに定芽の直上の位置で剪定する。この場合、定芽は、その方向が樹冠を作るにふさわしい枝となる向きの芽（原則として外芽、ヤナギなどは内芽）とする。

③切返剪定

樹冠外に飛び出した枝の切り取り及び樹勢を回復するため樹冠を小さくする場合などに行い、剪定は適正分岐点より長い方の枝を付け根より切り取る。骨格枝となっている枯れ枝や古枝を切り取る場合は、後継枝となる小枝または新生枝の発生のある場所を見つけてその部分から先端の太枝を切り取る。

③ 枝抜剪定

切り込みすぎた部分の中すかしのため、樹冠の形姿構造上不必要な枝（冗枝）等をその枝の付け根から切り取る。

2. 低木手入れ

樹木の特性に応じて切り詰め、中すかし、枯枝の除去等を行う。その他は樹木手入れに準ずる。

3. 生垣手入れ

- (1) 冗枝、徒長枝等を剪定し、枝の管理を行った後、一定の幅を定めて両面を刈り込み、天端を揃える。
- (2) 枝葉の疎な部分には、必要に応じて枝の誘引を行う枝の結束には棕梲縄を用いる。
- (3) 生垣の高さと幅の関係は、下記に示す数値を標準とする。ただし、樹種及び生育の度合いにより、この表によりがたい場合は監督員と協議して定める。

【単位：cm】

高 さ	100	120	180	250
幅	40～50	50～60	50～70	70～80

4. 刈込み、玉物刈込み

枝の密生した箇所は中すかしを行い、刈込み原形を十分考慮しつつ、樹冠周縁の小枝の輪郭線を作りながら刈込む。

5. 花木手入れ

花木類は、花芽の分化時期と着生位置に注意して手入れを行うこと。

6. 除草

既存植物を傷めないように除草フォークなどを用いて根ごと取り除く。抜き取った雑草は集積し、まとめて処理するとともに、除草後はきれいに清掃する。

7. 除草剤散布

- (1) 希釈剤は指定の濃度となるように正確に希釈混合し、指定量をむらなく均一に散布する。
- (2) 散布日は、風、日照、降雨等の気象条件を考慮し実施する。
- (3) 芝生地内の低木、草花、来園者及び隣地等へかからないよう、十分注意して行う。

8. 病虫害防除

(1) 剪定防除

アメリカシロヒトリ、チャケムシ等の幼虫期に枝葉に集団して生活している場合、この部分の枝葉の幼虫を落下させないように注意深く切り取り、監督員の指定する場所に集め、処分する。

(2) 薬剤防除

- ① 薬剤の使用に際しては、農薬取締り等の農薬関連法規及びメーカー等で定めている使用安全基準、使用方法を遵守する。
- ② 散布量は指定の濃度に正確な希釈混合した物を枝葉面に細かい水滴が付く程度にむらなく均一に散布する。
- ③ 散布に関しては、風下より背を向けて風上に歩くように散布する。また来園者を始め周囲の対象物以外の物に飛散しないよう、十分注意して行う。
- ④ 散布方法は、それぞれの病虫害の特性に応じて最も効果的な方法で行う。

9. 控水取替

- (1) 従来の控木及び添木の取り外しは樹木を傷めないよう注意し、根元より完全に引抜く。また杉皮、棕梠縄、亜鉛引鉄線は、洋釘及び幹巻材も同様にきれいに取り除く。
- (2) 控木の取付けにあたっては、施工時同様とする。保護及び養生は(1)に準じて行う。

10. 結束直し

- (1) 従来の杉皮、棕梠縄、亜鉛引鉄線は樹木を損傷しないよう丁寧に取除き、新しい材料を以て樹幹に緊密に固着するように杉皮を葺き、棕梠縄で結束する。

11. 枯損木処理

- (1) 枯損木の伐採にあたっては、周辺樹木、施設物、特に人止柵等を損傷しないよう注意深く行う。また周囲の芝生等は必要に応じてシートを被せるなど保護処理を行う。
- (2) 切株は、できるだけ地際より処理すること。
- (3) 伐採した樹木は枝払し、一定の長さに切断した後、指定方向に処理するとともに、周囲はきれいに清掃する。

12. 松こも巻

- (1) 取付け、取外しは時期を逸しないよう施工すること。
- (2) 取付け位置は、地上高1.5m内外とし、取付け位置より下にある場合は伐採

する。

- (3) 控木のある場合は、控木と樹木の結束部より上部に取り付ける。
- (4) 取付けは、こもを、樹幹に巻き込み、その上を丸縄で2箇所結束する。結束は、上方はやや緩く、下方を固く結束する。
- (5) 取外しは、害虫を落とさぬよう注意深く行う。取り外した後、樹幹についている害虫を採取し、取り外したこもととも、速やかに処理する。
- (6) 取り外した後、取り外した部分に殺虫剤を塗布または散布する。

II：芝生地管理

1. 刈込み

- (1) 刈込みは、芝生地内にある、樹木、株物、施設等を損傷しないよう注意し、刈りむら、刈り残しのないよう均一に刈り込む。
- (2) 刈り込み高は、監督員と協議する。
- (3) 刈り取った芝は、集積し、まとめて処理するとともに、刈り跡はきれいに清掃する。
- (4) 縁切りは、監督員と協議のうえ対象低木施設等にほふく茎が侵入しないよう、低木類にあっては、樹冠の幅で垂直に刈り込む。

2. 除草

- (1) 芝生を傷めないよう、除草フォークなどを用いて根より丁寧に抜き取る。
- (2) 抜き取った雑草は、毎日所定箇所に集積し、まとめて処理するとともに、除草跡はきれいに清掃する。

3. 除草剤散布

- (1) 希釈量は指定の濃度となるよう正確に希釈混合し、指定量をむらなく均一に散布する。
- (2) 散布日は、風・日照・降雨等の天候条件を考慮し実施する。
- (3) 芝生地内の低木、草花、来園者及び隣地等に飛散しないよう、十分注意して行う。

4. 病中害駆除

除草剤散布に準じて行う。

5. 目土かけ

- (1) 目土は、植物の根、がれき、赤土がなく、**2cm** 目程度のふるいによりふるい分けした目土用土を用いる。土壌改良剤及び肥料を混合する場合は、指定の混入

率になるよう入念に混合する。

- (2) 目土用土は、指定の厚さにとんぼを用いて、むらなく均一に十分すり込む。なお、芝生面に不陸がある場合は、不陸整正を勘案しながら行う。

6. ブラッシング

- (1) ブドウ茎や根などを切断するとともに、茎葉の間の枯葉枯茎を除去し、更新を促すため、レーキやホーク等で丁寧に回数多くひっかく。
- (2) 発生した枯葉枯枝等は集積し、まとめて処理するとともに、跡はきれいに清掃する。

7. エアレーション (ホーキング)

- (1) 芝生土壌の硬化を防止するためにエアレーション器具または機械により土壌が膨軟となるよう効果的に行う。
- (2) 穴及びカッティングの深さ、間隔等は監督員と協議する。

8. 補植

- (1) 補修箇所を大きめに形を整えて切り取り、深さ 15cm 程度まで床土を交換したうえで沈下防止のためよく転圧する。
- (2) 張芝にあたっては、周縁と同じ高さとなるよう調整し転圧、目土を施すこと。

Ⅲ：植込地清掃、草刈

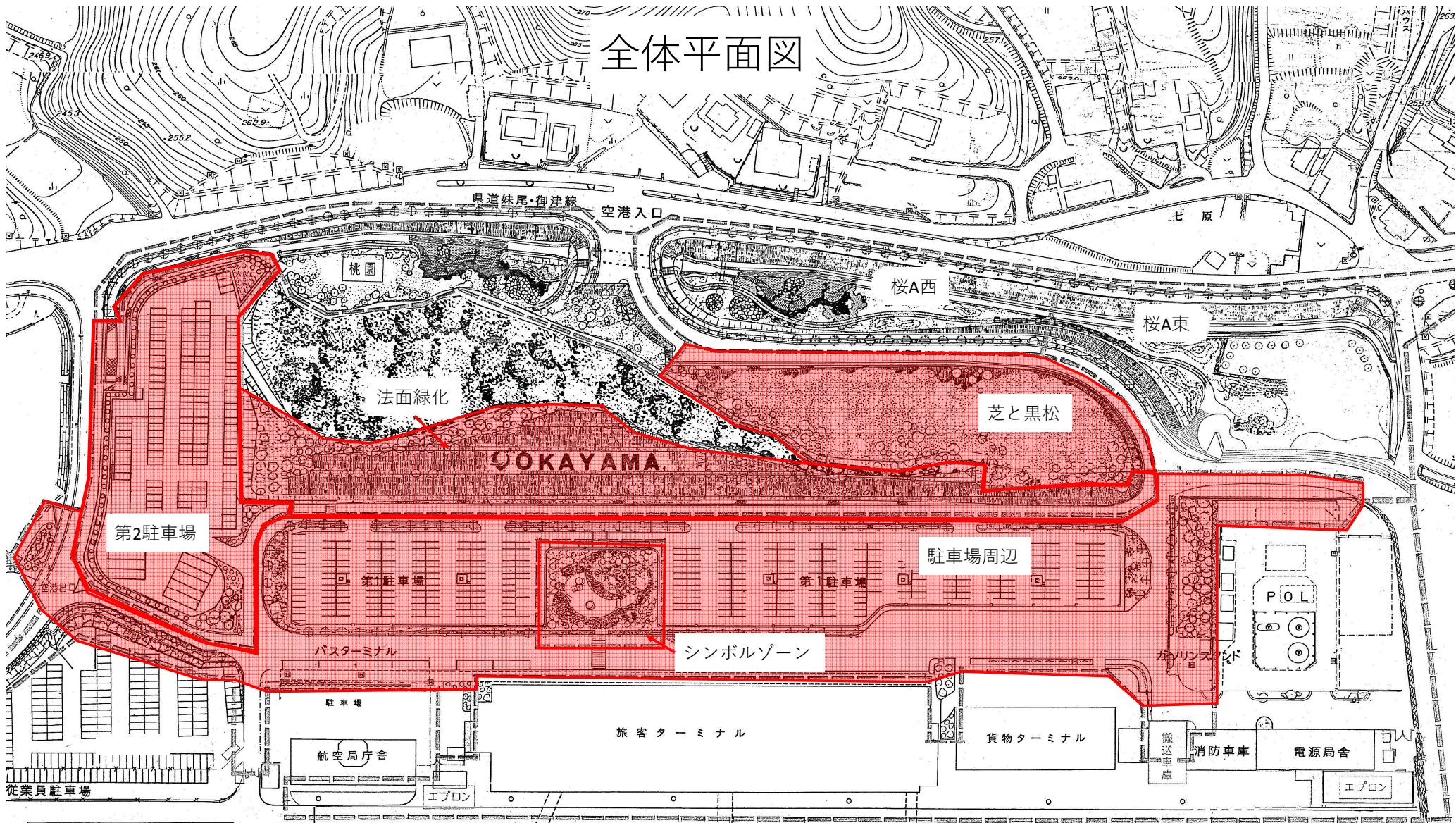
1. 植込地清掃

- (1) 特に全面清掃の必要な箇所以外は、落葉・小枝などはなるべくそのまま堆積させて土に還元させるよう努める。ゴミ・空き缶などは 1 つずつ取り除き、指定箇所に運搬処理する。
- (2) 低木内のゴミ等は、低木類を傷めないよう注意して取り除く。
- (3) その他は園地芝生清掃に準じる。

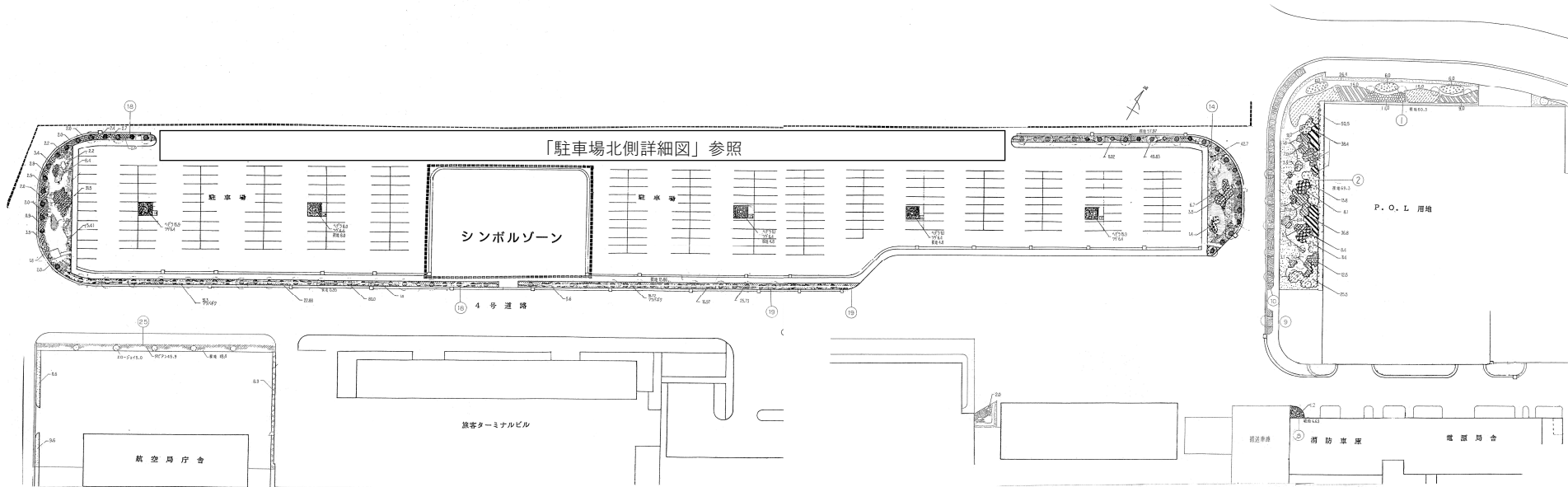
2. 草刈

- (1) 樹木、株物、柵等を損傷しないよう注意、刈りむらのないよう均一に刈り込む。なお、刈り高は監督員と協議する。
- (2) 樹木、株物、柵等の周辺も刈り残しのないよう仕上げる。またそれらに絡んでいるつる性雑草もきれいに除去する。
- (3) 刈草は集積し、まとめて処理するとともに、刈跡はきれいに清掃する。

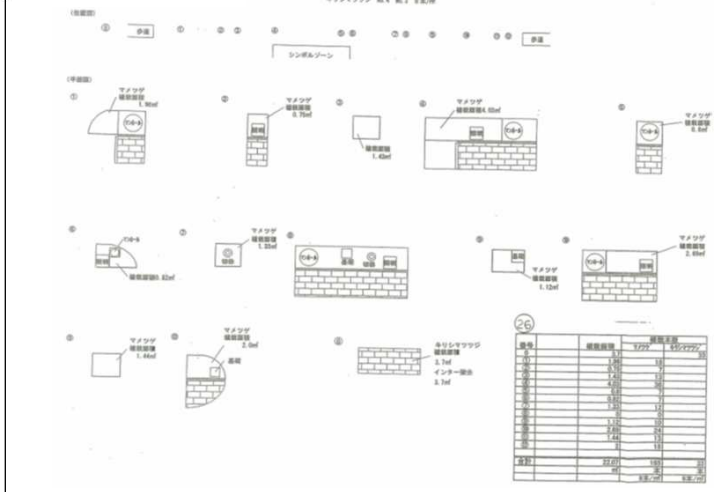
全体平面図



平面図 1 駐車場周辺



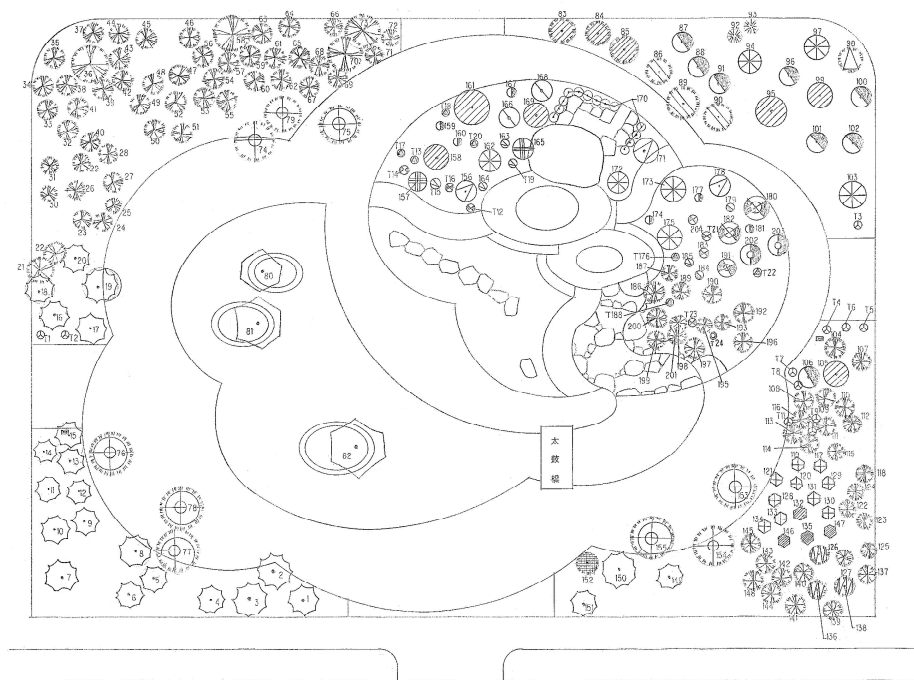
駐車場周辺北側詳細図



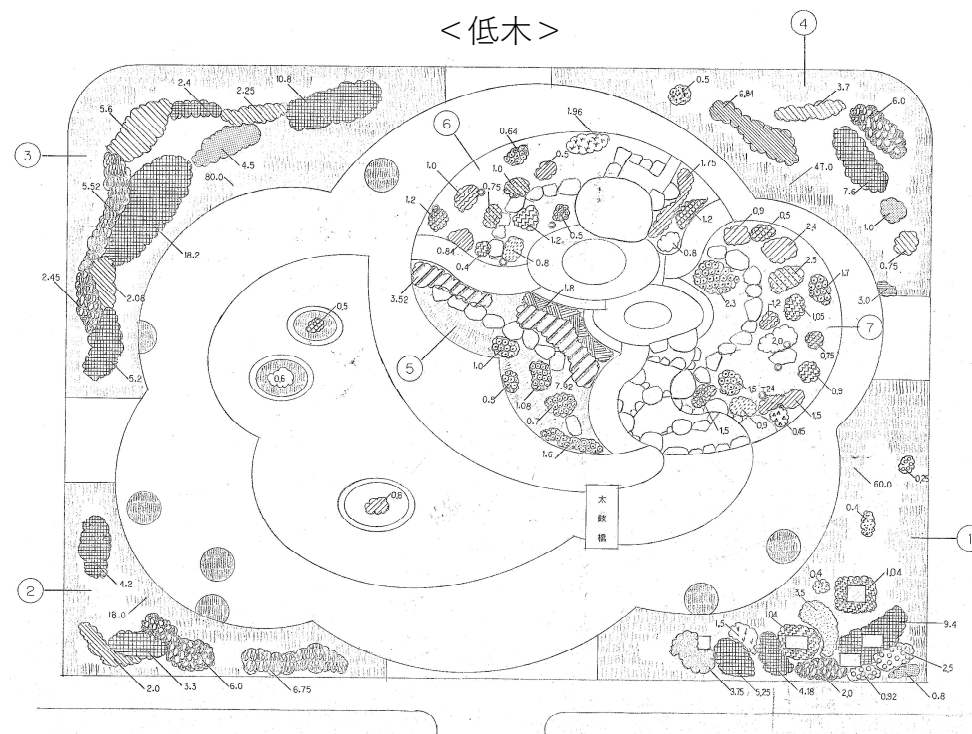
- ・ 剪定 (寄植) 2回/年
- ・ 薬剤散布 (寄植、芝部) 2回/年
- ・ 薬剤散布 (歩道部) 1回/年
- ・ 芝刈、除草 2回/年

平面図2 シンボルゾーン

< 高中木 >

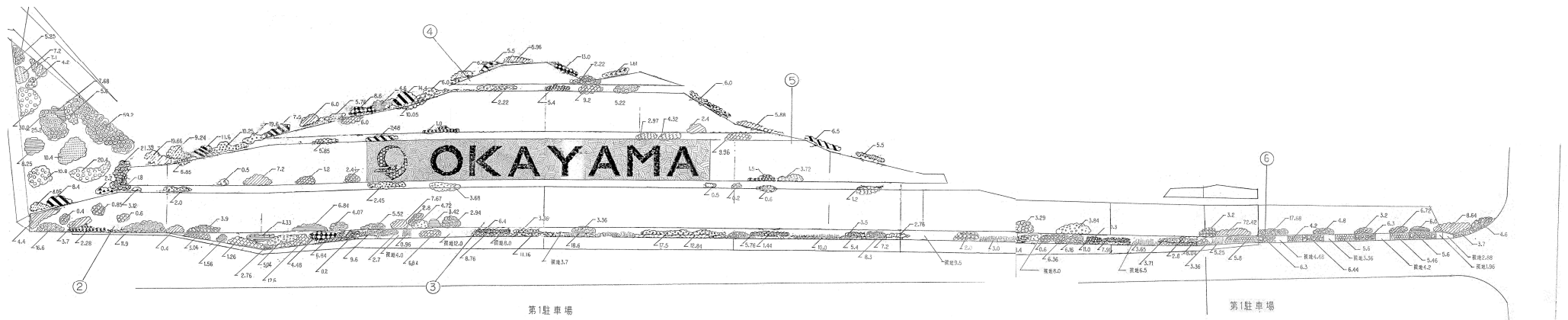


< 低木 >



- ・剪定（黒松、中木） 1回／年
- ・剪定（寄植） 2回／年
- ・薬剤散布（高木、中木、寄植） 2回／年
- ・除草 2回／年
- ・池底清掃 3回／年
- ・雨樋清掃 1回／年
- ・落葉清掃 30回／年

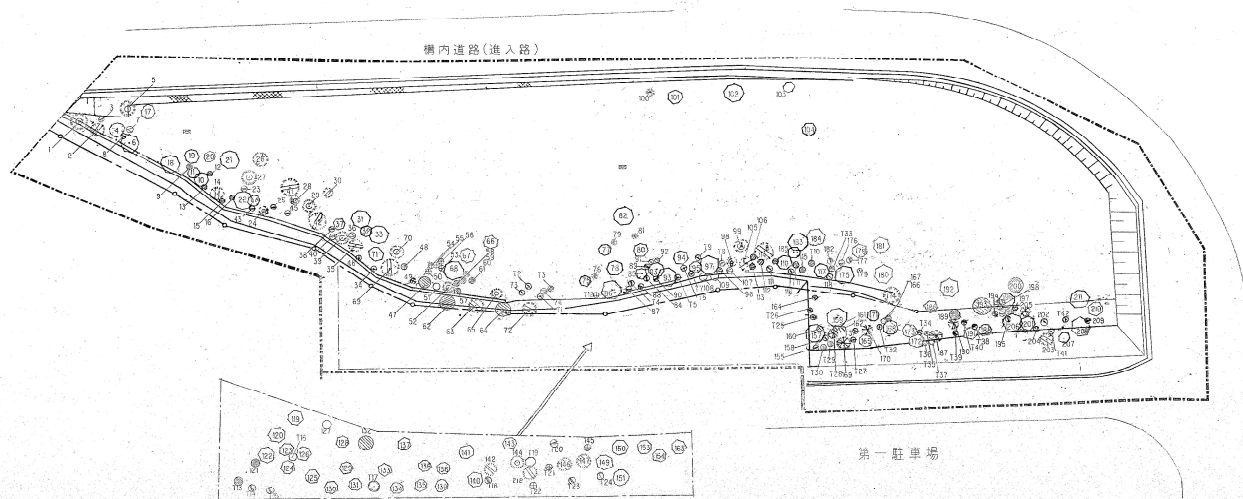
平面図3 法面緑化



- ・剪定（寄植） 1回／年
- ・薬剤散布（寄植） 2回／年
- ・薬剤散布（歩道部） 1回／年
- ・除草 2回／年

平面図5 芝と黒松

< 高中木 >



- ・ 剪定 (寄植) 2回/年
- ・ 薬剤散布 (高木、中木、寄植) 2回/年
- ・ 薬剤散布 (芝部) 2回/年
- ・ 芝刈 2回/年
- ・ 除草 (芝部) 2回/年
- ・ 除草 (芝部以外) 1回/年

< 低木 >

